

郷土の偉人に続け！

～ 佐賀県における人材育成のお手伝い ～

ロンドン事務所

2013 年 3 月 21 日、クレアロンドン事務所において佐賀大学医学部の学生と英国に留学している学生などのみなさんによる意見交換を実施されました。その概要をレポートします。

〇きっかけ

佐賀県には近代医学の基礎を築いた多くの偉人がいます。天然痘に対する種痘を全国に先駆けて成功させた伊東玄朴^{いとうげんぼく}、ドイツ医学の採用に尽力し医学校（のちの東大医学部）校長などを歴任した相良知安^{さがらちあん}、そして自らも医師でありまた日本赤十字社の創立者でもある佐野常民^{さのつねたみ}も佐賀県出身の偉人です。

この偉人たちの功績に続けるよう、佐賀県では日本の医療をリードする人材を発掘・育成・確保するための取り組みの一環として「佐野常民記念海外派遣事業¹」が実施されています。

この事業では、佐賀大学医学部に通う学生たちが様々な国を回る世界ツアーを行いながら、それぞれ国の医療機関や福祉施設などに訪問したり、専門家のお話しをお伺いしながら世界の現場や医療関係者と交流し、時には自分たちと同じく医師を目指す人たちと意見交換を行いながら、医師の卵である学生たちの視野を広げ、その資質を向上させることを目的とされています。

〇クレアロンドン事務所からのご提案

佐賀県からはこの事業に関し、ストックホルム及びロンドンにおける活動支援依頼を当事務所にいただきました。いただいた日程表を拝見したときは、すでに充実した内容だったのですが、'ダメもと' でこの事業に参加している学生たちと当地ロンドンで頑張っている日本人の学生と意見交換をするというイベントの提案を当事務所から佐賀県にさせていただきました。

すでにツアー日程が開始してからの申し入れでしたが、佐賀県側からも「やってみよう。」という言葉をいただき、早速、立命館英国事務所 Deputy Director の坂本純子氏にご相談してみたところ、「おもしろいのでやってみましょう。」とこちらもご快諾いただきました。学校法人立命館は立命館アジア太平洋大学（APU）²を運営されるなど、国際的な教育や留学に関して深い知識とご経験を積み重ねられており、このような事業の重要性を認識していただいていることを改めて確信いたしました。

坂本氏には日程的余裕がない中で、この意見交換に参加してくれる学生などの参集にご尽力いただきました。この場をお借りしまして改めてお礼申し上げます。

¹ 詳細は佐賀県 HP を参照：<http://www.pref.saga.lg.jp/web/kisha/68220/69253.html>

² <http://www.ritsumei.ac.jp/life/apu/>

○当日

意見交換の開始時間は 19:30。夕食を囲みながらの意見交換となります。この夕食についても、当該事業の目的に合わせてロンドンっ子たちが日常で利用するスーパーへと出かけ、ロンドンにおける食生活調査を兼ねて食材を調達しました。



買い出しを行う参加学生たち

ロンドンのスーパーではパスタなど「レディー・ミール (Ready Meal)」という電子レンジやオーブンで温めるだけの出来合いの食事が販売されています。そこに表示されているカ

ロリーや塩分などを確認したり、日本とは異なる食材や価格、販売の仕方などを実体験していただきました。

意見交換の場では、普段交流のない他学部の学生の話に耳を傾けたり、英国生活の実態の話に驚いたりと非常に活発な交流の場となりました。

また、事業参加者である医学部生たちは英国での専門的医療機関への訪問の中で、英国医療に対して非常によいイメージのみを持っていたようなのですが、意見交換の場で患者として利用する英国の国営医療サービスである NHS (National Health Service) へのコメントに初めて触れ、絶句する様子もみられました。将来、医師として現場に立つ彼等にとって、患者側からの率直な意見にふれることもまた大きな収穫だったのではないかと思います。



意見交換会参加者の写真

今回のこのイベント開催は、佐賀県と立命館英国事務所の柔軟なご対応なくしては実現し

なかったものです。日本の若者たちにいろいろな刺激を与えていこうという皆様の考えに敬意を表しますとともに、当事務所としてもその一端を担えましたことに感謝申し上げます。

この事業の参加者達がツアー中に執筆したブログが開設されています。どうぞ、彼らの日々の成長を感じてみてください。

<http://talkbar.saga-s.co.jp/author/sagablog026>

(山口所長補佐 佐賀県派遣)

